PRESS RELEASE

関係者各位

3331 ARTS CYD

2013 年 4 月吉日

アーツ千代田 3331 特別企画展

祭礼図巻にみる江戸の粋「江戸っ子だってねぇ」「神田の祭よっ」開催のお知らせ

二年に一度行われる「神田祭」が、東日本大震災の発生により中止を決断して以来、今年４年振りに行われます。日本三大祭のひとつであり、「江戸天下祭」の異名を持つ神田祭。神輿や仮装行列、山車人形など華やかな江戸の祭りは、“神田っ子”によって現代まで受け継がれ、地域にとってかけがえのない祭礼として、その歴史を刻んでいます。継承されてきた風土や風習、文化は東京という都市においても色濃く残り、江戸・明治・現代と時代は変わっても、粋の精神は脈々と伝わっています。

本展では、神田明神所蔵の祭礼図巻や山車人形といった貴重な文化財の展示のほか、神田祭の起源を知る資料や昭和初期の祭りの映像、町会の半纏（はんてん）なども展示し、神田祭を通して浮かび上がる歴史や伝統といった豊かな地域文化を発信します。

神田エリアを拠点にさまざまなコミュニティプロジェクトを行なってきたアーツ千代田 3331 にとって、本展の企画開催は「地域と共につくる」文化事業のひとつとも言えます。神田祭が始まる前には 3331 がある五軒町（旧外神田六丁目町会）の神輿も館内に展示するなど、町に溢れる神田祭の熱気を肌で感じながら、神田っ子に出会い、連綿と伝わる江戸下町の伝統や文化、街の魅力をさまざまな角度から楽しんで頂ける内容です。

□催事名：アーツ千代田 3331 特別企画展　　祭礼図巻にみる江戸の粋「江戸っ子だってねぇ」「神田の祭よっ」
□会　期：4 月 27日 (土)〜 5月 19日 (日)　会 期 中 無 休
□時　間：10:00-19:00（最終入場 18:30）※但し 5 月 12 日 (神輿宮入) は 20:00 まで
□会　場：アーツ千代田 3331 メインギャラリー 、コミュニティスペース他
□入場料：無料（有料イベント有り）
□主　催：アーツ千代田 3331　　□特設サイト URL：http://kanda-sp2013.3331.jp

■後援：一般社団法人千代田区観光協会、神田五軒町々会　■企画協力：神田明神、東京大学文化資源学研究室
■特別協賛：株式会社精興社　■協賛：練成中学校同窓会清風会（練成寄席）　■協力：外神田連合各町会、東京藝術大学、金剛流・遠藤勝實、ICHYS GALLERY、都市と祭礼研究会

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp（担当：高橋、宍戸）　URL: http://www.3331.jp

■展示・イベント内容（一部）

【展示】神田明神祭礼図巻（かんだみょうじんさいれいずまき）／ 千代田区指定有形民俗文化財

江戸時代の神田祭の様子が描かれた巻物全 3 巻・全長約 44m を一挙に展示。高性能スキャンマシンでデジタル化し和紙に出力。劣化が少く、当時の絵師の筆遣いや発色の良さも、近寄ってみることで際立つ複製展示です。全巻全長の展示実現により、江戸時代の行列を壮大なパノラマ図でご覧頂けます。36 台の山車全てと附祭も加わり、中国の英雄やおとぎ話を再現する仮装行列と数々のキャラクターからは、江戸時代の人々のユニークさをうかがい知ることが出来ます。平成 25 年 4 月 5 日付けで千代田区指定有形文化財に指定。

【展示】外神田十二町会半纏、弓張提灯、手ぬぐい

3331 が位置する外神田町会の、外神田連合十二町会の協力を得て、お祭りの必須道具を展示します。各町会の個性が強く出る半纏と手ぬぐいは、その絵柄や色にも粋の精神が反映されています。

【展示】山車人形「熊坂」／千代田区指定有形民俗文化財

その時代のヒーローをモチーフにつくられた山車人形。平安末期の大泥棒として各地に伝説が残る「熊坂長範」は、能の題材にもなっています。頭の部分は 1765 年当時のままとされ、江戸時代、連雀町（現・神田須田町など）から出された九番山車の上に飾られていました。

【イベント】神田明神祭礼図巻の解説

4 月 27 日（日）13:00-14:00

都市と祭礼研究会による、江戸時代の祭りを知る図巻読解。展示中の図巻を見ながら当時の衣装のつくり方や祭りに向けた準備など当時の模様を紐解いていきます。

講師：福原敏男
（武蔵大学教授、博士（民俗学））

【イベント】練成寄席

4 月 27 日（日）14:00-15:30

落語家・柳家小袁治と太神楽・鏡味仙志郎による寄席を開催します。題目は、祭にちなんだ「百川」。軽快な噺にのせて、江戸時代の町人達のやりとりが愉快に伝わってくる古典落語です。神田祭に昔より関わりのある鏡味家の太神楽も加わり、賑やかな寄席となります。

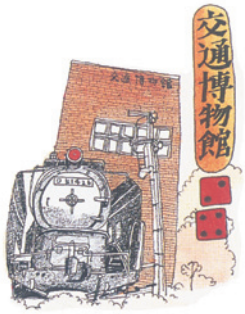
[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp（担当：高橋、宍戸）　URL: http://www.3331.jp

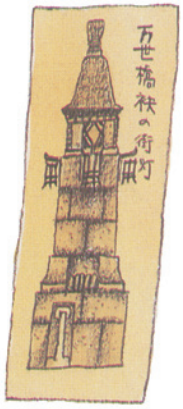
■同時開催　木下栄三 作品展「神田日和」

木下栄三氏は東京・神田に 40 年近く勤務し、建築の設計を生業としながらライフワークとして画業を続けています。「気になったものはついスケッチしてしまう」という木下氏。その眼差しは、40 年近くの間、神田をはじめとする東京下町の人々の生活を見つめてきました。
歴史や文化に親しみながらその遺産を記録・伝えることを目的に描かれた膨大なスケッチ。そこには、祭りの“ハレ”舞台から神田の“ケ”の姿（日常）までが丹念に描かれています。本展では、約 100 作品以上が展示され、時代に沿ってそれぞれの町の姿、物の姿を独特なタッチでお伝えします。

昭和初期の町の姿

色彩豊かに描かれた神田明神





■ 関連イベント「木下栄三氏が案内！神田日和・スケッチ町歩き」

NHK 番組「ブラタモリ」にも出演経験のある木下氏の案内により、普段目にしていても気付かない神田の町のあれこれについて、お話しを聞きながら神田の街をぐるっと歩きます。途中、昔ながらの趣を残す建物が建ち並ぶ路地で、木下氏と参加者がスケッチする時間も設けられます。

日時：5 月 3 日 (金・祝)　13:30-15:30
案内人：木下栄三
集合：コミュニティスペース
料金：¥2,000（定員 15 名）

木下栄三（きのした・えいぞう）（建築家、画家、江戸検定一級）

1950 年名古屋生まれ。東京・神田に勤務するようになって既に 40 年近くになる。現在建築の設計を生業とし、合わせて画業も自身の生き方の一つとして続けている。さらに画業の一部として歴史や文化に親しみながらその遺産を記録し、絵として伝えることをライフワークとしている。ここ数年はその中でも特に「皇居と江戸城」に焦点を絞って、千代田、あるいは東京という都市との関連を眺め、その中から未来に向けた姿を考えることに興味を持って研究を続けている。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp（担当：高橋、宍戸）　URL: http://www.3331.jp